

活動紹介

四日市出身のマンガ家 矢田恵梨子による、四日市公害をマンガで分かりやすく発信するプロジェクトです。

平成 26 年 9 月から四日市公害犠牲者の遺族や関係者に取材を行い、四日市公害マンガ『ソラノイト〜少女をおそった灰色の空〜』を制作。『ソラノイト』や対談などを収録した書籍『空の青さはひとつだけ—マンガがつなぐ四日市公害』を出版（発行 くんぷる）し、平成 29 年度四日市市環境活動賞を受賞。

『ソラノイト』は国際基督教大学(ICU)の授業で学生たちが英語に翻訳したり、四日市の小学校の公害学習などでも活用していただいています。



代表者の環境や活動に関する思い

私は四日市出身にも関わらず、4年前まで四日市公害について一切関心がありませんでした。かつての自分と同じように、公害に関心を持たない若い世代に向けて、当時の人々の想いをマンガを通して伝えたいです。

